

交野市議会議員 くぼた 哲

「かがやく交野」市議会ニュース No.14

発行人：久保田哲 交野市星田1丁目23-9 電話：072-894-0789 発行日：令和3年春号

市民の「いのち」と「暮らし」を守る 政策に全力で取り組みます。

皆さん、こんにちは。日頃は、何かとお世話になり、ありがとうございます。
昨年から続くコロナ禍の中、医療従事者の皆さんをはじめとする「エッセンシャルワーカー」の皆様方のご奮闘に心より感謝申し上げます。交野市においても、ようやくワクチン接種が順次開始されることになりました。コロナ禍が、無事終息に向かうことを祈っています。ここに「市政報告」をさせていただき、これからも元気に活動していきます。

※エッセンシャルワーカーとは、人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担っている人達のこと、感謝や尊敬の念を込めた呼称。主に医療・福祉、農業、小売・販売、通信、公共交通機関など、社会生活を支える仕事をしている方々。

プロフィール	昭和50年1月	西宮市生まれ	平成23年9月	交野市議会議員に初当選
	平成10年3月	近畿大学法学部卒業	平成27年9月	交野市議会 2期目 当選
	平成10年4月	三田工業(株)入社 (現：京セラ(株))	令和元年9月	交野市議会 3期目 当選
	平成12年8月	平野博文衆議院議員秘書(10年6カ月)	令和元年10月	交野市議会 議長に就任



交野市議会議員

さとし

くぼた 哲

星田のまちづくりについて

》》 星田交番の星田駅前への移転について 《《

質問

昨年12月議会で、星田北エリアのまちづくりにおいて、今後のまちの魅力づくりや治安が確保されたまちづくりを考えると、現「星田交番」を星田駅周辺へ移転させることが望ましいとの思いから、地域からの意見や要望も踏まえ「星田交番」の移転について市の考えや検討の状況についてお聞きした。その後の展開は？

答弁

「星田交番」は、地域で果たしてきた役割や機能から重要な施設であると認識している。

交番については、大阪府が所管する施設である。

交野警察署及び大阪府警との星田北のまちづくりに合わせた「星田交番」の移転の可能性について意見交換



星田交番

を行った。まちづくりに伴う道路等をはじめとした機能の変化についてご説明し、警察の治安維持機能を発揮するにあたって、適切な交番の配置やその実現可能性についての考え方を聞いた。

現時点において、星田をはじめとした周辺地区の

方々をはじめとして、多くの意見をいただいていることを踏まえ、引き続き、その実現に向けて協議していきたい。

質問

当然、地域や市が必要・重要と考えるから希望するのであって、いかにその必要性や重要性を本市が大阪府警に伝えるかだと思ふ。

府内に多くの交番がある中で、「星田交番」の移転を優先してもらうためには、市として待ちの姿勢ではなく、移転の必要性や重要性を市としてもよりしっかりと大阪府に説明していく必要があると考えるが、市の考えはいかがか。

くぼた哲の主張

星田北のまちづくりにおける駅北周辺の開発に伴って、今後、数多くの市民の方が星田地域にお住まいになり、企業進出も多く、今後、賑わいと同時に治安の維持が課題となります。現在の星田交番での機能を強化する意味においても、駅周辺に移転を行い、駅前周辺という「機動性」・「治安向上」を図る意味でも早急実現すべきだと考えます。

答弁

「星田交番」については、これまで果たしてきた役割や重要性とともに、現在、整備が進んでいる星田北のまちづくりに伴う道路等をはじめとした機能の変化や周辺地区の方々からの意見・要望を大阪府警にお伝えするとともに、交番機能に必要な土地面積や建物機能などについて意見を伺っている。

議員ご指摘のとおり、交番の移転を早期に実現していくためには、交番を移転させる必要性や移転にあたっての条件など、大阪府から見ても、他の交番よりも優先順位が高いと判断していただく必要がありますことから、引き続き、これらの点も含め協議調整してまいりたい。

》》 星田会館での行政サービスの充実について 《《

質問

星田出張所の老朽化や施設機能の集約化等により、出張所の一部機能を星田会館に移し、行政サービスを行っているところであるが、一部では行政サービスが縮小されたことにより不便になったという声も聞く。改めて、星田出張所の機能を移転するに至った理由について伺う。

答弁

星田出張所については、建築後40年以上が経過し、耐震安全性の確保やバリアフリー未対応など老朽化が進んでいた建物であった。

これらのことから、星田出張所の機能については、星田地域の中心的な役割を担っている建物で、耐震性の確保やバリアフリー対応がなされている星田会

館への移転が適当であるとの考えから、地元区の方々と意見交換等も行いながら、機能の移転を行った。

質問

老朽化が進む星田出張所を廃止し、その機能を移転したこと自体に反対するものではない。

しかしながら、一方で、機能が縮小されたことにより不便になったという市民の声や、今後、大きな雇用、多くの人口流入も期待できる星田エリアのまちづくりが進む中で、そこで新たに働く方、住まわれる方々が役所まで来なければ必要な手続きができない、というのはいかがなものかと思う。

星田会館での行政サービスについて、改めてその内容等を検討する必要もあるのではないかと。

答弁

星田出張所の機能を星田会館に移転するにあたっては、出張所での利用実態や地域のご意見などもふまえ、対人応対による証明発行機能の確保が必要と判断し、サービスコーナーを設置した。

星田会館での行政サービスの新たな取り組みといたしまして、本庁舎窓口以外でのマイナンバーカードの出張申請サービスを実施したい。

現在、国におきましてQRコード付きの申請書が一斉に送付されており、後期高齢者の方々にも3月

下旬より順次手書きの申請書が送付される予定。

特にご高齢の方やオンライン申請による手続きに慣れておられないの方々に対して、申請書の書き方から提出までサポートする取り組みを、職員が星田会館に出向き実施する方向で、現在地域と調整中である。



星田会館

くぼた哲の主張

星田会館での行政サービスの低下への懸念は、多くの地域の皆さんのお声を頂戴しております。速やかに、従来に近い行政サービスの充実に戻せるように取り組めます。高齢者の方や現役世代の皆さんにも、ご理解をいただけるような行政サービスのあり方を、今後つくっていきたいと考えます。

》》 新型コロナウイルス対策事業（令和3年度補正予算について） 《《

①暮らしの支援について（約7,750万円）

- 慰労金（保育士・薬剤師・放課後児童会職員）
- 介護保険サービス事業所・障がい福祉サービス事業所特別支援金
- 福祉サービス継続支援事業
- 中小企業者等事業継続支援金事業（延長）
- 地域公共交通運航継続支援事業（商業活性化推進事業）

②感染拡大防止について（約1億4,874万円）

- 自治振興補助金（集会所等利用環境強化事業）
- トイレ自動水栓化、衛生物品・庁舎備品の購入（庁舎等）
- 防災物品、防災倉庫の整備

- トイレ自動水栓化（園・学校）
- 公立小中学校トイレ清掃業務委託事業（学校）
- トイレ改修事業（放課後児童会）
- 認定こども園等新型コロナウイルス感染症対策事業補助金

③新しい生活様式について（約7,905万円）

- 行政デジタル化の推進（WEB会議等に係る諸経費、自治体DX推進計画策定業務委託、庁内ネットワーク無線化）
- ICT教育等の推進
- 高齢者ICT活用支援事業
- 高齢者実態調査及び見守り等事業

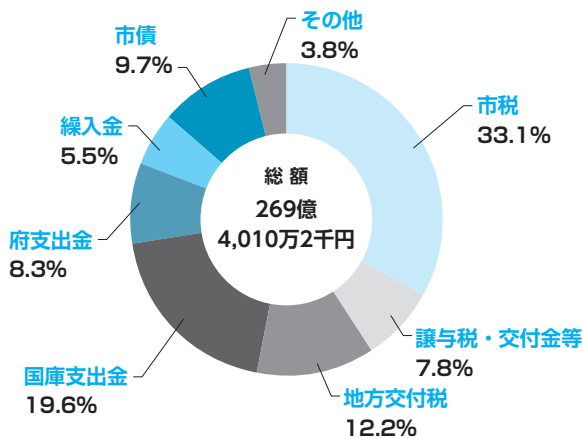
くぼた哲の主張

「慰労金の支給」など、昨年から続くコロナ禍で、懸命に社会活動の維持に取り組んでこられました方への取り組みは賛同します。またコロナ禍で「働き方」が大きく変化しようとしています。コロナ終息を見越して、新たな生活支援の応援の補正予算の編成に賛同します。

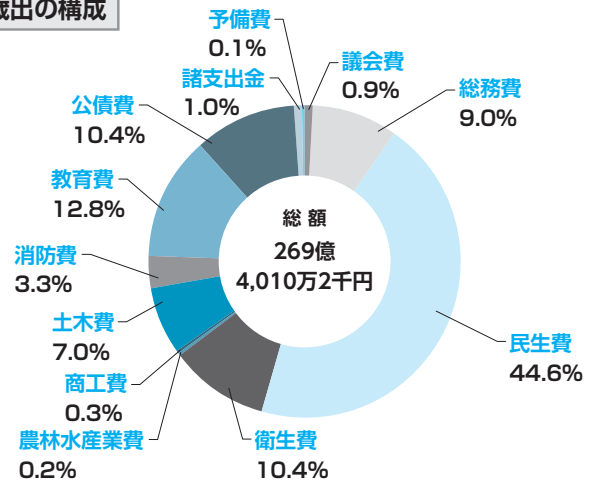
》》 令和3年度一般会計予算 《《

令和3年度第二回定例会が開催され、令和3年度一般会計予算などの重要な議案が審議されました。コロナ禍で市民税等の減収が予想される中、新たな社会活動への支援や、将来の交野を担う「こども」に関連する事業が中心の予算編成となっています。

歳入の構成



歳出の構成



市税	89億2,226万6千円	交通安全対策特別交付金	880万円
地方譲与税	1億3,000万円	分担金及び負担金	5,341万4千円
利子割交付金	1,500万円	使用料及び手数料	3億9,066万4千円
配当割交付金	6,800万円	国庫支出金	52億7,928万円
株式等譲渡所得割交付金	5,700万円	府支出金	22億2,007万4千円
法人事業税交付金	2,800万円	財産収入	662万7千円
地方消費税交付金	13億9,000万円	寄附金	938万9千円
ゴルフ場利用税交付金	6,500万円	繰入金	14億7,344万9千円
環境性能割交付金	3,100万円	諸収入	5億6,193万8千円
地方特例交付金	3億1,297万3千円	市債	26億1,722万8千円
地方交付税	33億円		

議会費	2億4,398万円	土木費	18億9,008万9千円
総務費	24億1,588万9千円	消防費	8億8,907万7千円
民生費	120億1,425万2千円	教育費	34億5,137万円
衛生費	28億590万7千円	公債費	27億9,817万7千円
農林水産業費	5,905万1千円	諸支出金	2億6,096万4千円
農工商費	7,134万6千円	予備費	4,000万円

くぼた哲の主張

コロナ禍で厳しい財政支出になっています。公共の役割は、まだまだ、先行きが見えない中、第一に「市民の生活」を守ることが何よりも大切と考えます。コロナ禍の影響で、より厳しい生活を送ることになっている方へのセーフティーネットの充実が求められています。財政収支の均衡が問題になっていますが、コロナ禍の影響により、更なる中長期的な財政規律の立て直しが急務です。

ご意見・ご要望や市政相談は
お気軽に **くぼた 哲** までお寄せください。

自宅 〒576-0016 交野市星田 1丁目23-9

電話&FAX (072)894-0789

ホームページ

くぼた 哲 検索

メールアドレス s-kubota@s-kubota.jp

